

タイトル

『汐製菓会社の新作 98 水羊羹 3』

シーン1：会議室での新作発表（10分）

「汐製菓会社の会議室。壁には「新商品開発会議」の看板が掲げられ、社員たちが座っている。中央に汐が立ち、ホワイトボードの前でプレゼンを始める。」

汐…

（大きな声で）

みんな、今日は新商品発表の日だ！新しい時代を切り開くお菓子を発表するぞー！

「社員たちが期待の眼差しで汐を見つめるが、塩田は少し心配そうな表情をしている。」

塩田…

（小声で）

まさか、また奇抜なものを発案してるんじゃない？。

汐…

（ウィンクしながら）

今回の新商品は“ドラゴンフルーツ水羊羹”
だ！！

「社員たちの間に一瞬の静寂が訪れる。皆、
目を見開いてその発言を理解しようとしている。」

飴川…

（目を細めて）

え？ドラゴンフルーツ…？羊羹…？いえ、それは面白いんですが、ちょっとイメージが…。

汐…

（勢いよくホワイトボードにドラゴンフルーツの
絵を描きながら）

このドラゴンフルーツの色合い、鮮やかでインパ

クト抜群だろう！見た目だけでSNSのバズるぞ！

塩田…

（手を挙げて）

でも、社長：見た目が派手過ぎて、実際に食べてみたら驚かれるんじゃない？。

汐…

（ニヤリと笑いながら）

驚かれるのがいいんだ！世間がその味を理解するまでのプロセスを楽しもうじゃないか！

「社員たちは少し戸惑いつつも、汐の情熱に押されて黙って聞くしかない。」

飴川…

（不安そうに）

ま、まあ、試してみないと分かりませんよね…。

汐…

(満足げに)

そうだ、やってみないと何も始まらない！さ

あ、みんな、次は試作室で本格的に作るぞ

ー！

シーン2：試作室の奮闘と老婦人の登場

(15分)

「汐製菓の試作室。数人の社員が集まり、ドラゴンフルーツ水羊羹の試作を始める。塩田は慎重に作業をしているが、汐は楽しそうに試作をかき混ぜている。」

塩田…

(眉をひそめて)

社長、これ…色がどうしても怪しいですね…。

本当にこれでいけるんでしょうか？

汐..

(無邪気に)

問題ないよ、塩田！見た目が一番大事なんだ！「味は後からついてくる」とはよく言ったもので。

「試作を進めるも、なかなかうまくいかない。ドラゴンフルーツの色が変わり、羊羹が固まりすぎてしまう。」

羊野..

(フライパンを持ちながら)

これ、ゼリーじゃなくて、もう固体化してますよ。これ食べたら顎が疲れるんじゃない..。

塩田..

(冷静に)

社長、これが“羊羹”じゃなくて“岩”になりますけど...。

「そこで、試作室に突然、老婦人が現れる。彼女はゆっくりと歩いてくる。」

老婦人..

(意味深に)

ドラゴンフルーツ…良い選択じゃ。だが、ちよつと待つがよい。

塩田..

(驚きながら)

あ、あなたは…？

汐..

(不思議そうに)

誰かの知り合いですか？

老婦人..

(神秘的に微笑みながら)

“和の魂”を加えることを忘れてはならぬぞ

…。それが、最も大事なことじゃ。

「全員がしばし黙り込み、老婦人の言葉の意味を考える。」

羊野…

(つぶやく)

和の魂…一体何のことだろう？

塩田…

(苦笑しながら)

あの、これってお菓子のレシピですよね？どう
いう意味ですか？

老婦人…

(振り返りながら)

それは君たちが見つけるのじゃよ…。

「老婦人が神秘的に立ち去り、社員たちはその言葉を引きずりながら試作を続ける。」

塩田…

(呆然としながら)

もう…いい加減にしてくれ、みんな…。

シーン3：商店街での試食イベント（12分）

「汐製菓の屋台が商店街に登場。大きな看板に「新作！ドラゴンフルーツ水羊羹試食会！」と書かれている。地元住民が集まり始め、試食が始まる。」

地元住人A：

（羊羹を手に取り、見つめる）

おお、これ、見た目がすごいな…なんだか未来の食べ物みたいだな。

地元住人B：

（興味津々で）

まあ、食べてみるか。見た目ほど悪くないかな。

地元住人C：

（不安そうに）

でも、これ、甘いんだよね？なんだかフルーツみたいな感じ…。

「外国人観光客たちが通りかかり、群がり始める。彼らは興奮している。」

外国人観光客 ♪ (アメリカから) ..

(手を挙げながら)

オオー！ドラゴンフルーツ！？この色！すごい、食べるのが楽しみだ！

外国人観光客 ☹ (フランスから) ..

(目を輝かせながら)

これ、見た目がアートみたい！食べるのがもったいないけど、試さなきゃ！

外国人観光客 ○ (イギリスから) ..

(羊羹をじっと見つめながら)

これは何か、伝統と現代が融合した感じがするわね。これを食べるのは…ちょっと怖いけど
楽しみ！

「汐が自信满满で彼らに話しかける。」

汐..

(満面の笑みで)

皆さん、これこそ日本の新しいお菓子文化です！伝統と革新の融合！

「観光客たちがそれぞれ羊羹を手に取り、恐る恐る一口食べる。」

外国人観光客>>..

(驚きながら)

オオ！これは…甘さと酸味が完璧にバランスしてる！まさにジャングルの中の甘い一口！

外国人観光客☺..

(興奮して)

なんだろう、この食感！ゼリーっぽいけど、フルーツのピクニックみたい！

外国人観光客☺..

(感動しながら)

これ、フランスにはない！新しい味の革命だわ！日本最高！

シーン4：味覚の神殿への挑戦（20分）

「汐製菓の新商品「ドラゴンフルーツ水羊羹」を目指して、汐、塩田、社員たちが神殿へ向かう途中、外国人観光客たちが再登場。神殿の前に集まって、汐の挑戦を見守ることに。」

外国人観光客A（アメリカから）…

（興奮気味に）

さあ、もうすぐだ！今回は本当に世界を変えられるかも！

外国人観光客B（フランスから）…

（真剣に）

私、このドラゴンフルーツ水羊羹が大好き。きっと君たちは勝つわよ！

外国人観光客C（イギリスから）…

（軽くジャンプしながら）

試食会で食べたとき、最高だったから、絶対に大丈夫！頑張れ、汐！

「汐が軽く手を振りながら歩く。塩田は相変わらず心配そうな顔をしている。」

塩田…

（小声で）

社長、正直なところ、この神殿で通用するとは思えません…。海外で好評でも、ここではどうでしょうか。

汐…

（自信満々に）

大丈夫だよ、塩田！まさにこれが世界戦略！この水羊羹が神殿の味覚を刺激するんだ！

「神殿の中に入ると、審査員たちが厳かな雰囲気ですわっている。汐製菓のブースがセットされ、いよいよ試食が始まる。」

審査員 1…

（厳格な表情で）

この水羊羹がどれほどの味を持っているのか、
見極めさせてもらおう。

「汐製菓の試作した水羊羹が審査員に渡され、審査員たちが一口食べる。しばらく無言になり、皆が驚愕の表情を浮かべる。」

審査員 2…

（驚きながら）

これは…！甘さと酸味が見事に調和している！水羊羹にこんな斬新な味があるなんて！まるでフルーツを食べているかのようだ！

審査員 3…

（目を大きく見開いて）

こんなに爽やかな羊羹は初めてだ！まるで新しいジャンルのスイーツだ！

「汐が満足げにニヤリと笑う。塩田は少し驚きながらもホッとした表情を見せる。」

汐..

(心の中で)

よし、これで決まった！世界に通じる味だ！

「審査員たちが互いに頷き合い、次々と評価を伝える。」

審査員..

(正式に)

汐製菓の「ドラゴンフルーツ水羊羹」、合格だ！これこそ未来の和菓子形だ！

「汐が両手を広げて喜びのポーズを取る。塩田も安堵し、社員たちが歓声を上げる。」

塩田..

(涙を浮かべながら)

やった、社長！本当にやったんですね！

汐..

(ガッツポーズをしながら)

うん！でも、これが始まりに過ぎないんだ！

次のステップを考えないと！

「外国人観光客たちが会場に駆けつけ、汐に向かって拍手を送る。」

外国人観光客 ♪ ..

（歓喜の声で）

さすが、ドラゴンフルーツ水羊羹！私たちが言ってた通りだろう！？この味、絶対に世界に通じる！

外国人観光客 ☹ ..

（満面の笑みで）

こんな美味しい和菓子、世界中に広めてほしい！これからも応援するわよ！

外国人観光客 ☹ ..

（拍手しながら）

本当に素晴らしい！次はどんな新しい羊羹が待ってるんだろう！

「汐が嬉しそうに頭をかきながら答える。」

汐..

（豪快に笑いながら）

ありがとう！次は“わさびチヨコ羊羹”を作つてやるよ！

「外国人観光客たちが驚きの表情を浮かべることが、すぐに大きな拍手を送る。」

外国人観光客>..

（驚きながらも）

わさびチヨコ！？それは…面白い！絶対に試してみる！

シーン5..祝賀パーティー（10分）

「汐製菓の成功を祝うパーティーが開かれる。会場には社員たち、地元住民、外国人観光客が集まり、盛大に祝福のメッセージが送られる。」

塩田…

（感動的に）

本当に、こんなに多くの人が集まるなんて…。最初は不安だったけど、社長のおかげで成功しましたね。

汐…

（ウィンクして）

塩田、君の心配も必要だったけど、これで証明できたよ！新しい時代の味を作るのが僕たちの仕事だってね！

「そのとき、外国人観光客」が登場し、大きな声で話しかける。」

外国人観光客」…

（嬉しそうに）

汐！次の挑戦、絶対に楽しみにしてる！わさびチヨコ羊羹が楽しみすぎて、今からワクワクしてるよ！

「汐が手を広げて大きな笑顔を見せる。」

汐…

(豪快に笑いながら)

ありがとう！次も絶対に驚かせてみせるよ！

世界が待っているからね！

「外国人観光客たちと社員たちが盛大に乾杯をする。」

全員…

(声を揃えて)

乾杯！

「カメラがパーティーの盛り上がりを映し、楽しい雰囲気広がっていく。」

シーンの…次なる挑戦(10分)

「パーティーが終わり、汐が一人で事務所に戻る。疲れた顔をしながらも、やり切った充実感を感じている。」

汐..

(ぼやきながら)

さあ、次はどんなお菓子を作ろうか…。

「塩田が静かに入ってきて、汐の肩をポンと叩く。」

塩田..

(穏やかな表情で)

社長、これからも驚くようなアイデアを期待していますよ。私も一緒に頑張りますから。

汐..

(にっこり笑いながら)

ありがとう、塩田！次は“わさびチヨコ羊

羹”、そしてその次は…君が思いつくまで、考え続けるよ！

「二人は笑いながら、今後の挑戦に向けて歩き出す。」

「画面がフェードアウトして、エンディング音楽が流れる。」

エンディング…

「『汐製菓の挑戦は終わらない…』というテロップが表示され、映画が終了。」